○○年○○月○○日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　作成者　○○　○○

監　査　調　書

○○に関する調査実施結果は下記の通りです。

記

１．日時　　　　　○年○月○○日（○）　○○：○○～○○：○○

２．場所　　　　　○○株式会社　○○会議室

３．実施者　　　　○○監査役

1. 実施した監査方法、部門、対象者等

（報告聴取、資料閲覧、立会い、視察等）

1. 目的

監査役の責務である「取締役の職務執行の監査」の一環として当社取締役の職務の重要な企業集団の管理体制が適切に遂行されているかという観点から子会社の調査を行う。

1. 監査結果・指摘事項・所見等

【記載すべき事項例】

・経営方針・経営計画等は、親会社の方針等と整合性がとれているか

・経営方針・経営計画等は、当該子会社の実情に見合った内容となっているか（過度な目標設定等がないか）。

・当該子会社に関係する法令等が把握され、規程類に適切に組み込まれているか

・内部統制体制（コンプライアンス体制、リスク管理体制、情報保存管理体制、効率性確保体制）が親会社の方針と整合性がとれ、適切に行われているか。

・当該子会社におけるリスクが洗い出され、重要なリスクへの対応策（リスクが顕在化した場合の対応策を含む）が講じられているか

・資産管理（債権管理、在庫管理、固定資産管理等）が適切に行われているか。

・親会社からの圧力はないか

・親会社とのコミュニケーションに問題はないか

・（その他、当該子会社の実情に応じて、当該子会社における取引（会計処理）の内容、横領等の不正防止策等）

＜コメント：海外子会社の場合には上記に加えて以下の内容の記載もあり得る＞

・現地特有の法令等に配慮した法令等遵守体制の整備

・現地特有のリスクへの対応

・現地採用者の雇用状況、離職率の確認

・出向者の生活環境や安全面等の確認

・その他、出向者からの意見・要望

・現地会計監査人を選任している場合、会計監査の適切性の確認（必要に応じて現地会計監査人と面談する）

1. その他補足説明

以　　　　上